

園だより

2024年12月1日

社会福祉法人
緑の丘福祉会
ののかぜ保育園

冬の自然を満喫し元気いっぱいあそぼう！！

友だちといっしょに

つもりあそびや、ごっこ遊びを楽しもう！



12月の予定

1	日		11	水		21	土	
2	月	園だより発行	12	木	給食部会・避難訓練	22	日	
3	火	職員会議	13	金	ののかぜ懇談会・所長研修	23	月	
4	水	幼保小懇談	14	土	法人合同研修	24	火	法人事務局会議
5	木	保育部会・内科検診14:30~	15	日	経営部会合宿(16日迄)	25	水	
6	金		16	月		26	木	保健部会・餅つき
7	土		17	火	園長会	27	金	
8	日		18	水	誕生会	28	土	
9	月		19	木		29	日	
10	火		20	金	職員の劇を見る会	30	月	休園
						31	火	休園

* 12月14日(土)ののかぜ保育園で15:15~18:30に法人合同研修を予定しています。土曜保育の方にはご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します。

国連子どもの権利条約の 31 条には以下の 3 つのレベルの権利が規定されています

こどもは じゅうぶんな やすみと
 じゆうに すごす じかんをもつ けんりがある。
 こどもが あそぶのは あたりまえに ひつようなこと。
 こどもは ぶんかてきに せいかつし
 じゆうに げいじゆつに さんかできるように
 することを にほんのくには
 せかいのひとびとに やくそくしている。



国連憲章で宣明された「子どもの権利条約」は人類すべての構成員の権利であると定めています。子どもたちを一人の人間として尊重し、子どもたちの声にじっくりと耳を傾け一緒になって子どもにとって一番いいことを考えあい共に行動していきたいと思ひます。

子どもの権利の先駆者「コルチャック先生」の「子どもにではなく 子どもと」の本とても良いです。玄関の“SHINJYO 文庫”に入っていますのでよかったです是非！！

すべての子どもたちが平和に暮らすことが出来る、差別や貧困、無駄な死がない社会を迎えることが出来るよう切に願っています。

「子どもは今を生きているのであって、将来を生きるのではない」

コルチャック先生は子どもは将来、仕事についたり、市民として社会に参加するという見方を批判しています。子どもの今を生きる権利を大切にすることが将来につながるのだと考えているからです。子ども時代から社会の一員として権利を尊重されることなくして、将来の人間として尊重されることはないとしています。

「人生にはあかかも二つの時期があるかのように見える。ひとつは真摯な尊重さるべき時期であり、いまひとつはくつろいでおり、大目に見てもらえるが、たいした価値は持たない時期である。我々は将来の人間、将来の勤労者、将来の市民といったことばをふだん口にする。あるいは、子どもについて、この先どうなるとか、本当のことはずっと後になって始まるんだとか、将来になってみなければ確かなことは言えない、といったことも聞かれる。(中略) 人生に戯れごとの時などというものがはたしてあるだろうか。そんなものはない。子どもの頃というのは、長く、そして一生の内での重要な時間なのである。

『子どもの権利の尊重』より



コルチャック先生は、「人権の基本は、すべての人が同じ人間として価値があるということ」という人権の本質をよく理解していました。しかし、人権はすべての人に保障されているわけではありません。世界ではさまざまな状況によって、人権が侵害されることは後を絶ちません。こうした不安定な人権状況にあって、最も弱い子どもを守ろうとしたのがコルチャック先生でした。



参考文献

- 「コルチャック先生と子どもの権利」「コルチャック先生の考えた子どもの権利」の参考文献は次の通りです。
- 近藤二郎 『コルチャック先生』 朝日新聞社 1995年
- 新保庄三 『コルチャック先生と子どもたち』 IUP 1996年
『子どもの権利の尊重』の日本語訳は新保庄三氏の著作による。
- 塚本智宏 『ヤヌシコ・コルチャック「子どもの権利」の探求』
権内北星学園大学紀要第2号 2002年
『子どもをいかに愛するか』の日本語訳は塚本智宏氏の著作による。

保育をよくする署名、3000 筆超を達成！



安心・安全な保育環境の実現、職員の配置基準の見直し、保育士の処遇改善等を求めた署名運動へのご協力ありがとうございました。保育運動部が中心となり、楽しく取り組める工夫もしながら進めてきた保育署名ですが、残念ながら目標の 4500 筆には届かず、、、。ですが、一人ひとりが力を合わせて取り組んできた成果です。これからも子どもたちのために力を合わせてより良い保育環境づくりをしていきましょう。

園長 新城 直世